

イニシアティブへの参画

当金庫は、農林水産業を基盤とする協同組織の金融機関として、持続可能な地球環境に対する社会的責任を果たすため、さまざまなイニシアティブへ参加・賛同するとともに、“産”・“官”・“学”との連携を進めています。

業界横断のイニシアティブ

国連グローバル・コンパクト

各企業・団体が社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取組み。



CDP

機関投資家の要望を受け、気候変動等に関する質問票を世界の主要な企業へ送付し、収集した回答を分析・評価・開示する取組み。



TCFD

気候変動に関する財務的なリスクと機会についての開示を推奨するもの。



気候変動イニシアティブ

気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、NGOなどの日本国内ネットワーク。



TNFD Forum

自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD; 自然資本および生物多様性に関するリスクや機会の適切な評価および開示の枠組みを構築するイニシアティブ)の議論をサポートし、枠組みの構築支援を目的とした組織。

2012年
3月

21世紀金融行動原則

持続可能な社会の形成を目指す金融機関の行動指針。



2016年
11月

赤道原則 (エクエーター原則)

プロジェクトファイナンス等における環境・社会リスクを評価・管理する金融業界の国際的な自主的ガイドライン。



2017年
3月

UNEP FI、PRB

責任銀行原則(PRB)は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が運営し、銀行がSDGsやパリ協定と整合した事業活動を行っていくことをコミットする枠組み。



2017年
5月

PCAF

金融機関のポートフォリオを通じた温室効果ガス排出量の計測・開示手法の開発普及を目指す国際的なイニシアティブ。



2019年
4月

AIGCC

アジアの投資家、金融機関に気候変動リスクや低炭素投資についての認識を高め、行動を促すためのイニシアティブ。



2022年
3月

Climate Action 100+

世界各地の機関投資家グループが、温室効果ガス排出量の多い企業に対し、カーボンニュートラルの実現に向けエンゲージメントを行うイニシアティブ。



2022年
5月

2022年
6月

金融業界のイニシアティブ

農林中金全連アセットマネジメント(株)の取組み

国連責任投資原則(PRI)に署名、Climate Action 100+に参加表明しました。



【サステナブル経営推進に向けた“官”・“学”との連携】

持続可能な 食料システム

「持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議」への参加（農林水産省）

持続可能な食料システムに関する国際的な動向に対応し、わが国の実情に合った変革を具体化していくため、官民の関係者が対話し、情報・認識を共有する場として、農林水産省が設置した当会議に参加しています。

「持続可能な食料システムへの転換に向けた連携プロジェクト」の開始（東京大学）

東京大学グローバル・コモンズ・センターと当金庫は、農林水産省の協力も得ながら、日本の食料システムを持続可能なものへ転換していく道筋を明らかにすることを趣旨にプロジェクトを立ち上げました。

生物多様性・ 自然資本

「ネイチャーポジティブ経済研究会」への参加（環境省）

生物多様性・自然資本と企業経営に関する包括的な議論を行い、ネイチャーポジティブ（生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること）に向けて検討するため、官民参加のもと、環境省が設置した当研究会に参加しています。

グリーン・トランス フォーメーション（GX）

GXリーグ基本構想への賛同（経済産業省）

カーボンニュートラルにいち早く移行するための挑戦を行い、国際ビジネスで勝てるような「企業群」が、自ら以外のステークホルダーも含めた経済社会システム全体の変革を進めるため、経済産業省がGXリーグ基本構想を策定しました。

トピック

「東京栄養サミット2021」開催にあたって意見発信を行いました

2021年12月「東京栄養サミット2021」が開催され、農林水産省主催のサイドイベントに梅田常務執行役員が「グローバルセッション」のパネリストとして、大澤特別参与が「持続可能な食料システムへの変革の潮流」をテーマとするセッションの座長として登壇。栄養改善に向けて、世界に向けて力強く意見発信しました。

なお、「グローバルセッション」には金庫の戦略的な業務提携先であるオランダのラボバンクも招聘し、グローバルな食農バンクの代表として共同スピーチを行いました。



梅田常務執行役員



大澤特別参与